

【4】 入学者に関する受入方針および入学者数、収容定員および在學生数、卒業または修了者数並びに進学者および就職者数、その他進学および就職等の状況に関すること

1. 入学者に関する受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）

【第一看護学科】

I. 「大学教育を通じてどのような力を発展・向上させるのか。」

第一看護学科では、卒業後に看護師として従事することを前提に、准看護師から看護師へのステップアップをするために、専門的知識と技術の修得、生命の尊厳を基盤とする倫理観、豊かな人間力を養い、ヒューマンケアを中核としたより実践的な看護の知識技能の修得を図ります。また、チーム医療の中で看護の役割を果たすことができる人材育成を目指します。

この目的のために入学後は、以下の能力の向上を図ります。

- ①高いコミュニケーション能力を持ち、深い洞察と倫理観に基づく人間関係を形成する能力
- ②身につけた知識と技術をさらに高度なものとし、自発的に目的意識を喚起できる能力
- ③自ら考え、なにごとにも挑戦し、最後まで粘り強くやり遂げる能力

II. 「入学者に求める能力は何か。」

上記 I. 「大学教育を通じてどのような力を発展・向上させるのか。」を踏まえ、以下の意欲・資質を備えた者を入学者として求めています。

- ①相手と気持ちを分かち合い、人の痛みがわかる感性を持ち、かつ自分の意見を発信して、人との関係を大切にできる
- ②准看護師の基礎的な知識と技術を有し、高い専門性を持ち、努力を惜しまず自己研鑽できる
- ③明確な目標をもち、その実現に向かってひたむきな努力を惜しまず、最後までやり遂げることができる

高等学校衛生看護科または准看護師学校養成所で修得しておくことが望ましい科目として、国語の読解力および言語運用能力（国語総合）と数学 I の計算能力があげられます。

また、入学後の学修を円滑にするために基礎看護と人体と看護の科目を修得しておくことが望まれます。

III. 「培ってきたどのような能力をどのように評価するのか。」

第一看護学科の選抜試験では、以下の評価を行います。

- ①一般選抜入試では、上記 II. 「入学者に求める能力は何か。」で掲げた科目を中心とする学科試験により基礎学力（知識、思考力、表現力）を評価します。

前期日程においては、小論文と看護専門科目により評価します。また、後期日程においては、看護専門科目と面接により評価します。

- ②推薦入試では、小論文および面接により意欲、資質などを評価します。
- ③社会人入試では、看護専門科目および面接により意欲、資質などを評価します。

面接においては、上記 II. に関する認識や態度、特に①で求められる意思疎通、協調性、自己表現能力、共感能力、知性と感性のバランスの取れたコミュニケーション能力などについての資質、それらを身に付ける意欲などを評価します。面接における参考資料として、出身校等の調査書や志望理由書を活用します。（評価全体に占める面接の比率は約 25%）

【第二看護学科】

I. 「大学教育を通じてどのような力を発展・向上させるのか。」

第二看護学科では、卒業後に看護師として従事することを前提に、看護に関する専門的知識と技術の修得、生命の尊厳を基盤とする倫理観、豊かな人間力を養い、ヒューマンケアを中核としたより実践的な看護の知識技能の修得を図ります。また、チーム医療の中で看護の役割を果たすことができる人材育成を目指します。

この目的のために入学後は、以下の能力の向上を図ります。

- ①高いコミュニケーション能力を持ち、深い洞察と倫理観に基づく人間関係を形成する能力
- ②身につけた知識と技術をさらに高度なものとし、自発的に目的意識を喚起できる能力
- ③自ら考え、なにごとにも挑戦し、最後まで粘り強くやり遂げる能力

II. 「入学者に求める能力は何か。」

上記 I. 「大学教育を通じてどのような力を発展・向上させるのか。」を踏まえ、以下の意欲・資質を備えた者を入学者として求めています。

- ①相手と気持ちを分かち合い、人の痛みがわかる感性を持ち、かつ自分の意見を発信して、人との関係を大切にできる
- ②看護学を学ぶために必要な基礎学力を有し、看護に関心を持ち、努力を惜しまず自己研鑽できる
- ③明確な目標をもち、その実現に向かってひたむきな努力を惜しまず、最後までやり遂げることができる

高等学校で履修しておくことが望ましい科目として、国語の読解力および言語運用能力（国語総合）と英語の表現力（コミュニケーション英語 基礎および I、II）、数学 I の計算能力があげられます。また、入学後の学修を円滑にするために、生物基礎の科目を履修しておくことが望まれます。

III. 「培ってきたどのような能力をどのように評価するのか。」

第二看護学科の選抜試験では、以下の評価を行います。

- ①一般選抜入試では、上記 II. 「入学者に求める能力は何か。」で掲げた科目を中心とする学科試験により基礎学力（知識、思考力、表現力）を評価します。

前期・中期日程においては、小論文と選択科目 1 科目（英語コミュニケーション英語 基礎および I、II、数学 I、生物基礎）により評価します。また、後期日程においては、国語総合と面接により評価します。

- ②推薦入試では、国語総合および面接により意欲、資質などを評価します。
- ③社会人入試では、国語総合および面接により意欲、資質などを評価します。

面接においては、上記 II. に関する認識や態度、特に①で求められる意思疎通、協調性、自己表現能力、共感能力、知性と感性のバランスの取れたコミュニケーション能力などについての資質、それらを身に付ける意欲などを評価します。面接における参考資料として、出身高等学校の調査書や志望理由書を活用します。（評価全体に占める面接の比率は約 25%）

【専攻科】

I. 「大学教育を通じてどのような力を発展・向上させるのか。」

専攻科（地域看護学専攻）では、卒業後に保健師として従事することを前提に、地域・企業・学校などの活動の場において、あらゆる世代やあらゆる健康レベルの個人、家族、さらに集団、組織を対象とした公衆衛生看護活動を展開できるよう、入学後は以下の能力の向上を図ります。

- ①高いコミュニケーション能力を持ち、深い洞察と倫理観に基づく人間関係を形成する能力
- ②身につけた看護学をもとに、公衆衛生看護の視点をもって、保健師として自発的に目的意識を喚起できる能力
- ③自ら考え、積極的な姿勢で、最後まで粘り強くやり遂げる能力
- ④社会情勢などをみて、物事を客観的に見極め、保健師の役割について考えられる能力
- ⑤地域の医療・保健問題の調査研究や問題解決に主体的に取り組める能力

II. 「入学者に求める能力は何か。」

上記 I. 「大学教育を通じてどのような力を発展・向上させるのか。」を踏まえ、以下の意欲・資質を備えた者を入学者として求めています。

- ①対象者と気持ちを分かち合い、人の痛みがわかる感性を持ち、かつ自分の意見を発信して、人との関係を大切にできる
- ②看護学に関する基礎学力を有し、公衆衛生看護に関心を持っている
- ③自己研鑽に努力を惜しまず、最後までやり遂げることができる
- ④探求心を持ち、主体的に研究に取り組むことができる

入学後の学修を円滑にするために、また、各看護師養成校で修得しておくことが望ましい科目として、看護学（特に公衆衛生看護学）の基礎知識・看護技術があげられます。

III. 「培ってきたどのような能力をどのように評価するのか。」

専攻科（地域看護学専攻）の選抜試験では、以下の評価を行います。

- ①一般選抜入試では、上記 II. 「入学者に求める能力は何か。」で掲げた教科を中心とする学科試験により基礎学力（知識、思考力、表現力、文章表現力）を評価します。

前期日程においては、看護学と小論文により評価します。また、後期日程においては、小論文と面接により評価します。

- ②推薦入試では、小論文および面接により意欲、資質などを評価します。
- ③社会人入試では、小論文および面接により意欲、資質などを評価します。

面接においては、上記 II. に関する認識や態度、特に①で求められる意思疎通、協調性、自己表現能力、共感能力、知性と感性のバランスの取れたコミュニケーション能力などについての資質、それらを身に付ける意欲などを評価します。面接における参考資料として、出身校等の調査書や志望理由書を活用します。（評価全体に占める面接の比率は約 30%）

2. 入学者および入学選抜の状況

入学者数および入学者選抜状況については、下記の平成 28～30 年度入学試験・入学者数を参照ください。

[平成 28～30 年度入学試験・入学者数 PDF](#)

3. 収容定員および在籍する学生数等

(1) 収容定員および在籍学生数

平成 30 年 5 月 1 日現在の在籍学生数および収容定員に対する在籍学生数の割合（収容定員充足率）は次のとおりです。

学 科	入学定員	入学者数	入学定員 充足率 (%)	収容定員	在籍者数	収容定員 充足率 (%)
第一看護学科 (修業年限 2 年)	100	110	110	200	225 (27)	113
専攻科(地域看護学専攻) (修業年限 1 年)	40	40	100	40	41 (1)	103
第二看護学科 (修業年限 3 年)	80	90	113	240	295 (64)	123
合 計	220	240	109	480	561 (92)	117

※在籍者数の（ ）は留年者を内数で示しています。

(2) 入学者数および在籍学生数推移

平成 26 年度から平成 29 年度の入学者数および在籍学生数の推移は次のとおりです。

年度	学 科	入学定員	入学者数	入学定員 充足率 (%)	収容定員	在籍者数	収容定員 充足率 (%)
26	第一看護学科	100	115	115	200	196	98
	専攻科	40	40	100	40	40	100
	第二看護学科	80	103	129	240	296	123
27	第一看護学科	100	113	113	200	233	117
	専攻科	40	40	100	40	40	100
	第二看護学科	80	95	119	240	281	117
28	第一看護学科	100	115	115	200	250	125
	専攻科	40	41	103	40	41	103
	第二看護学科	80	95	119	240	292	122
29	第一看護学科	100	102	102	200	227	114
	専攻科	40	39	97	40	40	100
	第二看護学科	80	96	120	240	299	124

(3) 出身地別入学者数推移

平成 28 年度から平成 30 年度の出身地別入学者数の推移は次のとおりです。

(平成 30 年 5 月 1 日現在)

年 度	平成 28 年度				平成 29 年度				平成 30 年度			
合計人数	251 名				237 名				240 名			
地域別	第一	第二	専攻	合計	第一	第二	専攻	合計	第一	第二	専攻	合計
北海道	2	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0
東北	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
関東	0	0	3	3	0	0	2	2	0	0	0	0
北陸	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1	3	4
中部	5	1	1	7	4	0	0	4	4	0	2	6
近畿	80	94	25	199	76	95	24	195	80	89	21	190
中国	9	0	2	11	10	1	3	14	16	0	5	21
四国	4	0	4	8	3	0	2	5	2	0	3	5
九州・沖縄	14	0	6	20	9	0	8	17	8	0	6	14
合計	115	95	41	251	102	96	39	237	110	90	40	240

4. 退学者数および除籍者数等

平成 27 年度から平成 29 年度の退学者数、退学理由、除籍者数及び中退率は次のとおりです。

(1) 退学者数

学 科	第一看護学科			第二看護学科			専攻科		
年 度	27 年度	28 年度	29 年度	27 年度	28 年度	29 年度	27 年度	28 年度	29 年度
1 年生	9	11	4	10	8	12	0	0	0
2 年生	2	6	4	5	6	3	—	—	—
3 年生	—	—	—	5	1	4	—	—	—
合 計	11	17	8	20	15	19	0	0	0

(2) 退学理由

学 科	第一看護学科			第二看護学科			専攻科		
退学理由	27 年度	28 年度	29 年度	27 年度	28 年度	29 年度	27 年度	28 年度	29 年度
就学意欲の低下	2	4	1	3	4	3	0	0	0
進路変更 (他学)	0	0	1	11	0	1	0	0	0
進路変更 (就職)	2	3	3	1	0	10	0	0	0
経済的困窮	0	0	2	0	0	1	0	0	0
学力不足	7	11	3	5	9	4	0	0	0
身体疾患	1	0	0	0	0	2	0	0	0
心神耗弱	1	1	2	0	2	1	0	0	0
海外留学	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	1	0	1	0	0	0	0	0	0
合計	14	19	13	20	15	22	0	0	0

(3) 除籍者数

学 科	第一看護学科			第二看護学科			専攻科		
	27年度	28年度	29年度	27年度	28年度	29年度	27年度	28年度	29年度
1年生	3	2	2	0	0	0	0	0	0
2年生	0	0	1	0	0	0	—	—	—
3年生	—	—	—	0	0	0	—	—	—
合 計	3	2	3	0	0	0	0	0	0

(4) 中退率

学 科	第一看護学科			第二看護学科			専攻科		
	27年度	28年度	29年度	27年度	28年度	29年度	27年度	28年度	29年度
中退率 (%)	6.0	7.6	3.5	7.1	5.1	6.4	0	0	0

※中退率の算出方法 (小数点第2位四捨五入)

$$\frac{\text{退学者数合計} + \text{除籍者数合計}}{\text{在籍者数}} \times 100 (\%)$$

5. 卒業または修了者数並びに進学者および就職者数等の状況

平成30年5月1日現在の各学科の卒業または修了者数、進学者数、就職者数等の状況は次のとおりです。

【第一看護学科】

	卒業生数	就職者数	進学者数	就職率
平成27年度	84名	78名	5名	99%
平成28年度	106名	105名	0名	99%
平成29年度	101名	91名	6名	98%

※就職率は、卒業生のうち国家試験不合格者、進学者、就職意思のない者を除いています。

①卒業生数、進学者数、就職者数等状況の詳細

		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
a	卒業生数 (学位授与数)	84		106		101	
b	就職希望者数	b/a	79 94.0%	105 99.1%	93 92.1%		
c	うち学校で斡旋した就職者数	c/b	43 54.4%	49 46.7%	38 40.9%		
d	うち自己開拓分の就職者数	d/b	35 44.3%	56 53.3%	53 57.0%		
e	就職未定者	e/b	1 1.3%	1 1.0%	2 2.2%		
f	進学・就学準備中	f/a	5 6.0%	0 0.0%	6 5.9%		
g	進学・留学者	g/f	5 100.0%	0 0.0%	6 100.0%		
h	進学・留学準備中	h/f	0 0%	0 0.0%	0 0.0%		
i	その他進路決定	i/a	0 0%	0 0.0%	0 0.0%		
j	不明・無業者数	j/a	0 0%	0 0.0%	2 2.0%		

②平成 29 年度 就職病院形態

	就職人数	割合
病院	90 名	99%
介護老人保健施設	1 名	1%
その他	0 名	0%

主な就職先（平成 29 年度卒業生） 藍野病院、藍野花園病院、彦根中央病院等

【第二看護学科】

	卒業者数	就職者数	進学者数	就職率
平成 27 年度	64 名	62 名	2 名	100%
平成 28 年度	74 名	71 名	3 名	100%
平成 29 年度	75 名	74 名	1 名	100%

※就職率は、卒業生のうち国家試験不合格者、進学者、就職意思のない者を除いています。

①卒業者数、進学者数、就職者数等状況の詳細

		平成 27 年度		平成 28 年度		平成 29 年度		
a	卒業者数（学位授与数）	64		74		75		
b	就職希望者数	b/a	62	96.9%	71	95.9%	74	98.7%
c	うち学校で斡旋した就職者数	c/b	9	14.5%	15	21.1%	23	31.1%
d	うち自己開拓分の就職者数	d/b	53	85.5%	56	78.9%	51	68.9%
e	就職未定者	e/b	0	0.0%	0	0.0%	0	0%
f	進学・就学準備中	f/a	2	3.2%	3	4.2%	1	1.3%
g	進学・留学者	g/f	2	100.0%	3	100.0%	1	100.0%
h	進学・留学準備中	h/f	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
i	その他進路決定	i/a	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
j	不明・無業者数	j/a	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

②平成 29 年度 就職病院形態

	就職人数	割合
病院	74 名	100%
介護老人保健施設	0 名	0%
その他	0 名	0%

主な就職先（平成 29 年度卒業生） 青葉丘病院、藍野病院、北野病院、済生会泉尾病院等

【専攻科】

	修了者数	就職者数	進学者数	就職率
平成 27 年度	40 名	37 名	0 名	97%
平成 28 年度	40 名	35 名	0 名	90%
平成 29 年度	39 名	30 名	0 名	100%

※就職率は、卒業生のうち国家試験不合格者、進学者、就職意思のない者を除いています。

①修了者数、進学者数、就職者数等状況の詳細

		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
a	修了者数	40	40	39
b	就職希望者数	b/a	39 97.5%	38 97.4%
c	うち学校で斡旋した就職者数	c/b	1 2.6%	1 2.6%
d	うち自己開拓分の就職者数	d/b	36 94.7%	29 76.3%
e	就職未定者	e/b	4 10.3%	8 21.1%
f	進学・就学準備中	f/a	0 0.0%	0 0.0%
g	進学・留学者	g/f	0 0.0%	0 0.0%
h	進学・留学準備中	h/f	0 0.0%	0 0.0%
i	その他進路決定	i/a	0 0.0%	0 0.0%
j	不明・無業者数	j/a	1 2.5%	0 0.0%

②平成 29 年度 就職先形態

	就職人数	割合
病院	6 名	20%
介護老人保健施設	3 名	10%
保健所	1 名	3%
市町村	16 名	53%
その他	4 名	13%

主な就職先（平成 29 年度卒業生） 大阪府、大阪市等

6. 国家試験状況

	看護師免許取得状況						保健師免許取得状況		
	受験者数		合格者数		合格率		受験者数	合格者数	合格率
	第一	第二	第一	第二	第一	第二			
平成26年度	59	71	54	63	91.5%	88.7%	40	40	100.0%
平成27年度	84	64	76	62	90.5%	96.9%	40	39	97.5%
平成28年度	106	74	88	63	83.0%	85.1%	40	39	97.5%
平成29年度	101	75	91	67	90.1%	89.3%	39	32	82.1%

7. 留学生・社会人・帰国子女・障害者・長期履修学生の受け入れ状況

平成 30 年 5 月 1 日現在の平成 28 年度から平成 30 年度の各学科の留学生・社会人・帰国子女・障害者・長期履修学生の受け入れ状況は次のとおりです。

【第一看護学科】

種別	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
留学生	0	0	0
社会人	9	1	5
帰国子女	0	0	0
障がい者	0	0	0
長期履修学生	0	0	0

※社会人の定義・・・准看護師免許取得後、入学時において 1 ヶ年以上の実務経験を有する者

【第二看護学科】

種別	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
留学生	0	0	0
社会人	19	10	7
帰国子女	0	0	0
障がい者	0	0	0
長期履修学生	0	0	0

【専攻科】

種別	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
留学生	0	0	0
社会人	17	10	17
帰国子女	0	0	0
障がい者	0	0	0
長期履修学生	0	0	0

8. 海外派遣学生について

本学では、留学生および海外派遣学生に対する制度は設けておらず、該当者はいません。

9. 社会貢献活動、大学間連携、産学官連携、国際交流の概要

(1) 社会貢献活動

①子育てサロン～だっこ～

専攻科の活動として、平成 25 年度より地域の母親を対象にして「子育てサロン～だっこ～」を実施している。短期大学部茨木キャンパスを会場とし、母親の居場所を作り、育児不安やストレスからの虐待を予防すること、同じ悩みを持つ母親同士が交流できる場を設けることを目的とした活動である。

例年、保健師資格ならびに臨床心理士の資格を持つ教員、看護師資格を持つ学生により実施しており、茨木市や高槻市といった近隣の市町村に在住している方々が参加している。各回のテーマと併せて、身体測定や育児相談、手遊び等を紹介して参加者の支援、交流を行っている。

なお、平成 28 年度より全日程終了後に実施レポートを作成し、本学のホームページにて公開している。

【平成 30 年度 スケジュールと実施結果】

日程	テーマ	参加組数
7月24日(火)	夏の皮膚トラブルをふせごう	8組
7月27日(金)	熱中症・脱水症を予防しよう	4組
8月21日(火)	子育ていらいら解消するには	10組
8月24日(金)	絵本を読んでもみよう	7組

②健康長寿講座～生き生きと死を迎えるために～

主に高齢者を対象とした市民公開講座として平成 28 年度に第 1 回目を実施した。平成 29 年度からは、基礎コース（全 6 回）と、平成 29 年度の講座修了者を対象とした、ステップアップコース（全 4 回）の 2 部構成で実施した。看護・医療福祉専門である本学の特色を活かし、予防医学的なプログラムで医療に関する正しい知識を学んでもらい、健康長寿への意識を高めることを目的としている。

平成 30 年度は、全 8 回のプログラムを行う。

【平成 29 年度 健康長寿講座（基礎コース）プログラム内容】

回数	日程	内容
1	10月3日(水)	◇開講式 「人体の不思議①」
2	10月10日(水)	「人体の不思議②」
3	10月17日(水)	認知症①「認知症診療の現在と未来」

4	10月24日(水)	認知症② 「認知症予防 スリーAプログラム」
5	10月31日(水)	「介護することとは ～基本の介護技術～」
6	11月7日(水)	認知症③「認知症サポーター養成講座」
7	11月14日(水)	「グリーフケア」
8	11月21日(水)	「生死と医療ー関係性の死を中心にー」 ◇修了式

(2) 大学間連携、産官学連携、国際交流等

現時点で海外の協定相手校、大学間連携・産官学連携は行っていないので今後の課題である。

(3) その他

平成 29 年度から青葉丘キャンパスでは、奈良文化高等学校、羽衣学園高等学校、大阪緑涼高等学校の 3 校と高大連携に関する協定を締結した。

平成 30 年度には羽衣学園高等学校において、出張講義を実施するなどの活動を行っている。